

西要寺だより

第106号 令和4年5月4日

●大人気マンガ「ONE PIECE(ワンピース)」に 唐門 (からもん) が登場しました

本願寺境内の南側に建つ国宝・唐門。昨年9月、約40年ぶりの修復工事が無事完了。先日、私はその唐門に行きました。非常に鮮やかに再現され、その美しさに感動しました。そのような唐門が、大人気マンガに登場したのです。

「ONE PIECE(ワンピース)」(尾田栄一郎作 集英社)と聞いてもピンと来ない方も多いかと思いますが、「週刊少年ジャンプ」に絶賛連載中の大人気マンガです。海賊王を夢見る主人公のモンキー・D・ルフィが、仲間たちと一緒に世界の海を大冒険する壮大な物語で、1997年に連載が始まり、単行本は現在102巻(4月10日時点)、累計発行部数は4億9000万部を超えているということです。

テレビアニメも大人気で、劇場版も多く作られており8月に公開されるものもあるということです。日本だけにとどまらず世界中にファンを持つ作品です。本願寺の唐門がモデルとなって登場するのは、ワノ国編が展開する単行本90巻第909話の中です。



作者の尾田さんは、2017年8月頃に、作画資料収集のために京都を訪れ、その最初に取材したのが本願寺だそうです。

集英社の担当編集者によりますと、その時に目にした豪華絢爛（けんらん）な黒漆（くろうるし）の唐門が、尾田さんのイメージと重なり、それをもとにして作品が描かれたということです。

このほかにも、本願寺職員の案内で白州（しらす）や書院を巡り、尾田さんの取材ノートには、境内の噴水や書院「虎之間（とらのま）」の虎、南能舞台、「鴻之間（こうのま）」のふすまに描かれた「金碧松鶴図（こんぺきしょうかくず）」などが細かくスケッチされているということです。



（以上、「本願寺新報」4月10日号参照）

・・・唐門（からもん）・・・

本願寺の境内南側に建つ国宝・唐門は、天正19年（1591年）に本願寺が現在の地に移転した直後に建立されました。

慶長16年（1611年）の親鸞聖人350回忌の際に、彩色が施されて今の鮮やかさになったとも言われます。昭和28年（1953年）には、豪華絢爛（ごうかけんらん）な桃山文化を今に伝える建造物として国宝に指定されました。



唐門は、屋根の中央がふくらんだ曲線をもつ唐破風（からはふ）と呼ばれる形からそう呼ばれます。黒い漆の上に施された彫刻や彩色の豪華さに見入り、日が暮れるのも忘れてしまうことから「日暮門（ひぐらしもん）」とも呼ばれています。

（以上、「本願寺新報」4月10日号参照）

- 西要寺一道会会長 木和田喜博さんが本願寺新報に投稿していただきました

✉ 聴聞が一番の良薬

兵庫教区仏教壮年の集いが神戸別院でありました。オンラインとの併用ですが、3年ぶりに対面での開催です。久々の再会に、会場ではあちこちで「お～！」とか「元気やんか」などの挨拶が交わされていました。講師2人からご法話をいただき、皆さん熱心に聴聞されていました。新型コロナの流行以降、聞法の場が相次いでなくなる中、集いを開いてくださった別院の職員さんや仏社役員の方々に敬意を表します。皆さんと顔を合わせた聴聞が私には精神衛生上の一番の良薬です。感染症が早く終息することを念じます。

(兵庫県尼崎市・木和田喜博／西要寺仏社会長)

- LINE (ライン) の追加を

西要寺への連絡用にLINEを作りました。LINEをされている門徒さんは追加してください。お寺への連絡用にお使いくください。

必ず返信はしますが、少し時間が掛かる場合があることをご了解ください。お願いいたします。



- 住職から最後一言

裏面に書いています「今後の西要寺行事予定」のように、西要寺におきましても法話を聴聞する法座や法要を予定しています。法要・法座を通して、〈生きていく力〉を得て頂きたいと存じます。

真宗教団連合の法語カレンダーの5月に「失ったものを数える人あり与えられたものに感謝する人あり」という法語が書かれています。大事な方を亡くされ、もう元には戻れないとわかりながらも、忘れられずに追い求めてしまっている。そのような悲しみや苦悩を通してこそ、もうすでに与えられていたものがあったことに気づかされ、感謝するという

ことが生じます。そうだったのだ、と再認識し、これからも人生を頑張っていこうかな、という気になります。とらえ方は人それぞれでいいのです。私自身は聴聞を通して、そのようなことを感じております。是非、お参りくださいますようご案内します。

しかしながら、いまだコロナ禍のなかです。緊急事態宣言や蔓延防止措置が兵庫県に発令されましたなら、法要は延期、法座は中止とさせていただきます。

さて、話は変わりますが、右の写真は西要寺の庭です。紅葉（もみじ）がきれいでしたので思わず写真を撮りました。お庭も御覧になり、是非とも和んでいただきたく存じます。



◎今後の西要寺行事予定◎

【永代経法要】

5月22日（日）23日（月） 両日とも午後2時より

講師：赤井智顕師（龍谷大学講師 西宮市鳴尾・善教寺副住職）

場所：西要寺本堂

【定例法座】

6月22日（火）午後2時より

講師：西要寺住職

場所：西要寺本堂

【定例法座】

7月22日（金）午後2時より

講師：山田秀英師（本願寺派布教使 豊岡市出石町・高福寺住職）

場所：西要寺本堂

浄土真宗本願寺派

西 要 寺

〒661-0024

尼崎市三反田町1丁目7-27

電話 06-6429-8241

FAX 06-6429-8239



ホームページ
saiyouji.com



Instagram
saiyouji.a



YouTube